

高齢者が安心して暮らせるまちづくり — コープさつぽろとの協定調印式 9/24 —

生活協同組合コープさつぽろの宅配システム「トドック」の配達業務を通じて、高齢者の安否確認や孤立死を防止することを目的に、市とコープさつぽろとの間で「高齢者の地域見守り活動に関する協定」が結ばれ、根室市役所で調印式が行われました。

この協定は、配達員が訪問した際に、新聞や郵便物がたまっていたり、日中でもカーテンが閉じたままなど、いつもと違う状況を見つけた場合、市役所に知らせるといった仕組みとなっており、今回の協定によりこれまで以上に高齢者の安心・安全の見守り活動が強化されていくことに期待が寄せられます。



食べて遊んで「秋」を満喫

— 第28回根室産業フェスティバル10/7 —

秋の収穫を祝う産業フェスティバルが根室市イベント広場で開かれ、多くの市民や観光客が会場に詰めかけました。会場では、市内の4漁協や道東あさひ農協などの各団体から秋あじ鍋や牛ロースステーキなどが格安で提供され、来場者は根室の秋の味覚を堪能。

市内の若手料理人でつくる「根若会」提供のエスカロップをイメージした「エスカバナー」に長蛇の列ができる人気ぶりを見せていました。

また、恒例の「秋サケつかみどり」では、元氣よく逃げる秋サケを、子どもたちが水しぶきを上げながら追いかける姿に、会場から大きな声援が送られていました。

早期返還の願いを胸に

— 第8回北方領土まで歩こう会 9/30 —

北方領土返還要求運動の世論を喚起すること目的に、「北方領土まで歩こう会」が開催され、市民をはじめ道内外から千人余りが参加しました。

参加者はそれぞれ北方領土返還への想いを書いたゼッケンを着け、本土から国後島、水島、貝殻島までの距離と同じ3つのコースを歩き、心地よい汗と北方領土までの近さを体感していました。

歩こう会に引き続き四島のかけ橋前では「返還祈願フェスティバル」が行われ、ゲストウオーカーの元プロ野球選手パンチ佐藤さんのトークショーも行われ、元氣いっぱいのトークで、会場は笑顔と歓声にあふれていました。



資源の大切さを学ぶ

— 市政ウォッチングねむろ 9/28 —

市営施設の見学を通して市政への理解を深めてもらうことを目的に、市主催の施設見学会「市政ウォッチングねむろ・生活環境コース」が実施され、市民7人が参加し上下水道施設やごみ埋立処理場など、私たちの暮らしを支える市内6カ所の市営施設を見学し、水の流れやごみについての知識を深めました。

資源再生センターでは、担当職員から市のごみ処理状況や取り組みについての説明を受けた後、施設の見学を行い、参加者は細かなごみの分別方法について、日ごろから感じていた疑問を一つひとつ解消し、ごみの資源化、減量化への意識を高めていました。



伝統の浜の味をご家庭で

— 根室おさかな料理教室10/16 —

根室の水産物を使った料理を市内の漁協女性部から学ぶ「浜の母ちゃん直伝！根室おさかな料理教室」が、総合文化会館実習室を会場に開かれ、旬のさんまやホッキを使った春巻きやカルパッチョなどの4品目のレシピを、市内外から参加した20人が学びました。

参加者は、講師の根室漁協、湾中部漁協の女性部員の手ほどきを受けながらホッキの殻むきやさんまの三枚おろしに挑戦。慣れない魚さばきに苦戦しながらも作り上げた料理に参加者からは「おいしい。家でもまた挑戦したい。」といった感想が上がり、浜の母ちゃんの伝統の味に大満足の様子でした。

